

「セブン&アイ アベスコ基金」は、国際人道支援に取り組む4団体に支援金を寄贈しました！

イトーヨーカドー

セブン&アイ HLDGS.

CSR アクション

2013/7/22

イトーヨーカドーは、2000年9月にミレニアム開発目標の主旨に賛同し、飲料メーカー等と共同で「セブン&アイ アベスコ基金」を設立し、自動販売機の収益の一部を国際人道支援活動に取り組む団体に寄付しています。6月26日、27日に4団体、5プロジェクトへアベスコ基金から支援金の贈呈を行いました。

セブン&アイ アベスコ基金は、お客様に自動販売機でのお買い物を通じて気軽に社会貢献活動にご参加いただける点が特徴です。今後も、こうしたお客様に参加いただける取り組みを地道に続けていきたいと思っています。



イトーヨーカドー
加工食品部
シニアマーチャンダイザー
井出 敬一

セブン&アイアベスコ基金

2000年9月にミレニアム開発目標の主旨に賛同し、飲料メーカーなどと共同で設立した基金です。
イトーヨーカドー店舗に設置した特定の飲料の自動販売機の収益の一部を、国際人道支援に取り組む団体へ寄付しています。

設置店舗数：80店舗

設置台数： 409台

※ IVESCO =「イトーヨーカドー自販機収益による寄付支援協議会」
IY Vending Machine Fund For Social Support Contribution

※ ミレニアム開発目標は、2000年に開催された国連ミレニアムサミットで採択された国連ミレニアム宣言と、1990年代に開催された主要な国際会議やサミットで採択された国際開発目標を統合して一つの枠組みとしてまとめたものです。貧困削減、教育、ジェンダー平等、母子保健、感染症、環境などについて、2015年までに達成すべき8つの目標を掲げています。



該当の自動販売機には、「一本から始まるボランティアです」のポスターを掲示しています。

これからも、ミレニアム開発目標に掲げられている「貧困と飢餓の撲滅」「普遍的な初等教育の達成」「ジェンダーの平等と女性地位向上」に取り組んでまいります。



支援内容

①「チャイルド・スポンサーシップ」

寄贈先： 特定非営利活動法人
ワールド・ビジョン・ジャパン
支援金額：324万円

②「タイ乳幼児教育施設建設プロジェクト」 「バングラデシュ 女性の能力強化プロジェクト」

寄贈先： 公益財団法人プラン・ジャパン
支援金額：664万円

③「世界の飢餓撲滅のための食糧支援」

寄贈先： 特定非営利活動法人
国際連合世界食糧計画WFP協会
支援金額：300万円

④「地雷対策活動支援」

寄贈先： 特定非営利活動法人難民を助ける会
支援金額：200万円



←6月27日 ワールド・ビジョン・ジャパン事務局にて
目録を贈呈

6月27日 プラン・ジャパン事務局にて
↓目録を贈呈





これまでの支援実績

2001年からの累計支援金実績＝5,258万円

【支援例：2010年公益財団法人プラン・ジャパン タンザニア小学校建設プロジェクト】

建設前の授業の様子



建設された校舎と授業の様子



写真提供：公益財団法人プラン・ジャパン

関連情報

2012年6月25日のニュースリリースでも報告しております。



http://www.7andi.com/dbps_data/_template/_user/_SITE/_localhost/_res/csr/news/pdf/2013/20130625_abesuko.pdf